



「聞こえ」の育ち確認表

～赤ちゃんの「聞こえ」を確認しましょう～



赤ちゃんは、生後まもなく「見る」、「聞く」、「さわる」などの感覚を通して周囲の刺激を受け取り、その意味を理解し、周囲とのコミュニケーションを育み、成長していきます。

もし聞こえにくいことに気づかずにいると、このようなコミュニケーションの力が育ちにくくなります。

この表には、生まれてから1歳6か月になるまでの、聞こえの目安を記載しています。各月齢ごとに確認してみましょう。

あくまでこの表は目安であり、お子さんによって個人差があります。特に0～5か月の時期は反応がわかりにくかったり、月齢の前半と後半で反応が違うことがあります。

聞こえについて気になることがあれば、かかりつけの医師や保健師に御相談ください。

	はい○ いいえ×	項目		はい○ いいえ×	項目
0 か 月 児		突然の音にビクツとする	3 か 月 児		ラジオの音、テレビの音、コマーシャルなどに顔(または目)を向けることがある
		突然の音に目をギュッと閉じる			怒った声や、優しい声、歌、音楽などに不安そうな表情をしたり、喜んだり、またはいやがったりする
		眠っているときに突然大きな音がすると目が開く			
1 か 月 児		突然の音にビクツとして手足を伸ばす	4 か 月 児		日常のいろいろな音(玩具、テレビの音、楽器音、戸の開閉など)に対して、その音のする方向に顔を向ける(振り向く)
		眠っていて突然の音に目をさますか、または泣き出す			母親など(特に聞きなれた声のもの)が名を呼ぶと振り向く
		目が開いているときに急に大きな音がすると目を閉じる			不意の音や聞きなれない音、珍しい音に顔を向ける
		泣いているとき、または動いているとき声をかけると、泣き止むか、または動きを止める	5 か 月 児		耳もとに音の出るものを近づけると、その音に振り向く
		近くで声をかける(またはガラガラをならす)とゆっくり顔を向けることがある			父母や人の声など、よく聞きわかる
2 か 月 児		眠っていて急に鋭い音がすると、ビクツと手足を動かしたりまばたきをする	6 か 月 児		突然の大きな音や声に、びっくりしてしがみついたり、泣き出したりする
		眠っていて子どもの騒ぐ声や、くしゃみ、時計の音、掃除機などの音に目をさます			話しかけたり歌を歌ってあげると、じっと顔を見ている
		話しかけると、アーとかウーの音を出して喜ぶ(またはにこにこする)			声をかけるとサッと振り向く ラジオやテレビの音に振り向く
7 か 月 児		隣の部屋の物音や、外の動物の鳴き声などに振り向く	9 か 月 児		隣の部屋で物音を立てたり、遠くから名前を呼ぶとはって来る
		話しかけたり歌を歌ってあげると、じっと口もとを見つめ、ときに声を出して答える			音楽や、歌を歌ってあげると、手足を動かして喜ぶ
		テレビのコマーシャルの音や、番組のテーマ音楽の変わり目にパッと振り向く			ちょっとした物音や、変わった音がするとハッと振り向く
8 か 月 児		叱った声(メッ! コラッ! など)や、近くで鳴る突然の音に驚く(または泣き出す)	10 か 月 児		「ママ」、「マンマ」または「ネンネ」など、人のことばをまねて言う 気づかれないうようにそっと近づいて、ささやき声で名前を呼ぶと振り向く
		動物の泣き声をまねると声をだして喜ぶ	11 か 月 児		音楽のリズムに合わせて身体を動かす
		機嫌よく声を出している時、まねてあげると、またそれをまねて声を出す			「○○ちょうだい」と言うと、そのものを手渡す
		ダメッ! コラッ! などと言うと、手を引っ込めたり、泣き出したりする			「○○どこ?」と聞くと、そちらを見る
	耳もとに小さな音(鈴の音など)を近づけると振り向く				
9 か 月 児		外のいろいろな音(車の音、雨の音など)に関心を示す(音のほうにはっていく、または見まわす)	12 か 月 児		隣の部屋で物音がすると、不思議がって耳を傾けたり、あるいは合図して教える
		「おいで」、「バイバイ」などの人のことば(身振りを入れずことばだけで)に応じて行動する	18 か 月 児		簡単なことばによるいいつけや、要求に応じて行動する 眼、耳、鼻、口など身体部位を尋ねると、指でその部位を指す